

# 物理・応用物理学 及び関連のエンジニアリング分野

「物理・応用物理学関連分野」審査委員会

福井大学

葛生 伸

付表 1 - 3 - 1 1 物理・応用物理学及び関連のエンジニアリング分野の学士課程  
プログラムに関する分野別要件

分野名	主として関連する共通基準の項目	分野別要件（勘案事項）の内容
物理・応用物理学及び関連のエンジニアリング分野	1.2	付表 1 - 2 の内容に加えて、当該分野の知識・能力観点として、以下が考慮されていること。
	(d)	当該分野にふさわしい基礎的な物理学とそれを理解するに必要な数学、物理系実験の基礎的な素養と活用能力が含まれることに加えて、広い意味での物理学の発展分野または応用分野に関わる内容の少なくとも一つに関する基礎知識とそれらを問題解決に用いる能力。
	2.3	当該分野にふさわしい『項目 2.1 および項目 2.2 で定めたカリキュラムに基づく教育を適切に実施するための教員団および教育支援体制』として、以下が考慮されていること。 共通基準に追加する勘案事項は定めない。

# 「物理・応用物理学及び関連のエンジニアリング分野」概要

## 専門学協会

物理・応用物理学関連学協会間「日本技術者教育認定制度」連絡協議会

(連絡協議会)

## 認定プログラム

現在4プログラム

# 連絡協議会

(物理・応用物理学関連学協会間「日本技術者教育認定制度」連絡協議会)

発足当初は20学協会（オブザーバー9学協会含む）

(一社) 日本物理学会 } が幹事学会（6年交代）  
(公社) 応用物理学会 }

現在応用物理学会

2025年度から日本物理学会

# 認定プログラムの現状と推移

大学	学部・学科等	プログラム名	認定年度
A	理・物理学科	物理エンジニアリングコース	2004
B	総合理工・物質科学	基礎物理学コースなど	2007
C	理工・システム理化学	物理物質デバイスコース	2011
D	工・電子物理工学	物理物質システムコース	2017
E	工・応用物理学	応用物理学科	2005 ~2009
C	工・材料物性工学	応用物理コース	2008 ~2011
D	工	材料物理工学科	2010 ~2015

・ 現在4プログラム

# 「物理・応用物理」分野の課題

プログラム数が少なく、分野の廃止・統合なども一時検討

← 物理系での技術者養成を目指している大学があるので継続

互いに離れた地域にあるため審査員の負担大きい

← 1泊だけの実地調査は困難

産業界での経験者の確保が難しい

← 分野の性格上

連絡協議会の見直し

← 実質に即した運用（実質2学会で運用）